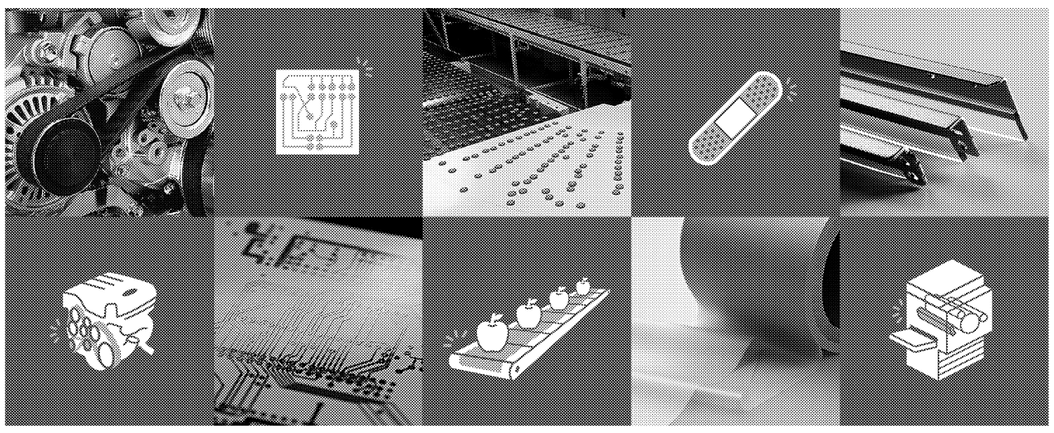


なんだかんだにこたえる技術。あれやこれやをひろげる技術。

BANDO

Breakthroughs for the future

ゴムとプラスチックの新ソリューションで明日を動かすグローバルパートナー、バンドーです。

バンドー化学株式会社
www.bando.co.jp

◉ベルト　◉自動車部品
◉産業資材　◉精密機能部品　◉機能フイルム

バンドーグループは
環境にやさしい事業活動を
推進しています
eco moving

TOYO 東洋機械金属株式会社　www.toyo-mm.co.jp

本社・工場　〒674-0091 兵庫県明石市二見町福里523-1
TEL.078-942-2345(代表) FAX.078-943-7275
支　店：関東 / 関西 / 中部 / 埼京 / 北関東 / 西日本
営 業 所：全国 9ヶ所　海外ネットワーク：58ヶ所

電動機をつくりつづけて 30years そして明日へ

景気本格回復へ あと一歩

兵庫県経済は緩やかに回復しつつある。日銀神戸支店は4月に金融経済概況の基調判断を引き上げ、5、6月と判断を据え置いた。背景には神戸港からの4月の輸出金額が前年同期を上回るなど輸出が持ち直し傾向にあり、産業用機械や電気機械・電子部品を中心に生産が回復していることなどがある。ただ現状では大手企業が景気をけん引している側面が強く、中小企業まで景気回復の恩恵が広がっているとは言い難い。

大手、軒並み好業績

過去最高の売上高続出

14年3月期

兵庫県内の上場企業は2014年3月期決算で軒並み好業績を挙げた。川崎重工業は二輪車や航空宇宙事業が好調で増収増益。当期利益は前期比25%増の386億円と6期ぶりに過去最高を更新した。

主力の鉄鋼、アルミニウム事業の採算悪化に苦しんでいた神戸製鋼所は黒字化を達成。自動車や建築など内需中心に需要が旺盛でコスト削減効果も寄与した。

大手を中心に過去最高の売上高をたたき出した企業も続出した。海外事業が好調なアシックスとシスメックスは売上高が同3割弱増え、大幅な増収増益だった。グローリーは12年に英国の同業を買収した効果で売上高が同14・5%増加。景気回復で輸入コンテナの扱いが増えた上組も売上高が過去最高となった。

15年3月期は神戸製鋼所が自動車や造船、建設関係の鉄鋼需要が持続するとして、売上高は前期比6・9%増の1兆9500億円を計画。川崎重工業も好調さを維持し、売上高は同7・5%増の1兆4900億円と予想する。前期に過去最高の売上高を記録した各社も増収基調を維持する。

ただ、原材料価格の高止まりや人件費の上昇など課題も出てきており、大半の企業で増益幅は縮まる見通し。海外売上高比率が高い企業の売上高や利益を押し上げていた円安の進行が一服していることも一因だ。中には、為替が再び円高に振れることで増収ながら減益に転じると予想する企業もある。

そうした中、各社はM&A(合併・買収)や設備投資を積極化し、中長期の事業拡大を探り始めている。代表的な例が神戸製鋼所の発電事業で、真岡製造所(栃木県真岡市)隣接地と神戸製鉄所(神戸市灘区)の2カ所で大型火力発電所の建設を計画している。

真岡は出力120万キロワット規模で19年をめどに、神戸は同140万キロワット規模で22年度までに売電を始める。投資額は非公表ながら、それぞれ1000億円以上の規模になると見られている。競争が激化する鉄鋼事業に比べ、電力卸売事業は安定した収益が見込めるメリットがある。

企業業績の回復に伴い、今後はこうした成長分野への投資がますます活発化しそうだ。

出力140万キロワットの大型火力発電所を増設する神戸製鋼所の神戸製鉄所(神戸市灘区)

前向きな中小企業に勢い

一方、兵庫県の中小企業の厳しさは変わらない。ひょうご産業活性化センターが実施した繊維、金属製品、一般機械など6業種300社(184社が回答)の動向調査(対象期間2014年1―3月)によると、操業割合が「80%以上」が4期連続増加、受注残高や仕事量は回復傾向、採算状況は引き続き改善傾向が続いている。

その一方で、資金繰りは若干タイトで、今後の受注見通しは不透明となっている。受注量も増加傾向が頭打ち感があり、受注単価も小幅だが、下降となるなど、目先は良いが将来に不安を抱えている現状がある。

しかし、そんな厳しい環境にありながら、積極的な企業が数多くある。自動車用プラスチック成形品を手がける協和樹脂工業(兵庫県丹波市)は、同県三田市に新工場建設し、本社を移転する。設備投資額は12億円で15年6月の稼働を目指す。自動車部品の需要増に対応するもので設備と人員を拡充するほか、将来は医療分野への参入も検討する。環境機器を手がける三和エンジニアリング(同明石市)は、社有地(約1万9500平方メートル)に設備投資額約3億5000万円で大規模太陽光発電所を稼働した。発電出力は約1メガワット、年間発電量は約1200メガワット時(一般家庭約350世帯分の電力消費量相当)を売電する。そのほか、柳瀬(同丹波市)は7月にベトナムに研磨用工具を製造販売する全額出資子会社を設立する。価格競争力を高めて旺盛な東南アジアの需要を取り込むのが狙いだ。

このほか、13年度の補正予算「中小企業・小規模事業者ものづくり・商業・サービス革新事業(補助金)」の認定を受けた企業から今後、新製品が続々完成するなど、前向きな中小企業が増える勢いは止まりそうにない。

協和樹脂工業が兵庫県三田市に建設する新工場の完成イメージ

都市型データセンターを起点に
さまざまな情報サービスの
提供を通じて
お客さまのIT化を支援します。

三井住友銀行グループ
さくらケーシーエス
www.kcs.co.jp

兵庫・神戸産業界

みなと為替相場セミナー2014　参加費無料

マーケットの第一線で活躍するストラテジストが、マーケットの生の声をお伝えします。

■テーマ
『為替相場の見通し』

■日時　平成26年7月14日(月)
14:00～16:30

■場所　神戸国際会館 9階 大会場

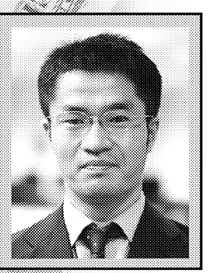
■定員　150名(参加費無料)　※先着順

■申込方法
ホームページ掲載の申込書に、必要事項をご記入の上、FAXにてお申込みください。
FAX 078-331-7796

みなと銀行　為替相場セミナー　検索
http://www.minatobk.co.jp/corporate/topics/seminar/2014

■主催：株式会社みなと銀行
■後援：公益財団法人ひょうご産業活性化センター

講師　棚瀬　順哉 氏
JPモルガン・チェース銀行
債券為替調査部
エグゼクティブ・ディレクター
チーフFXストラテジスト 兼
チーフEMストラテジスト



神戸国際会館 9階 大会場

お問い合わせ　みなと銀行　営業企画部　TEL 078-333-3832〔担当：楡井(にれい)〕

想いを、まちへ。　みなと銀行